

決算報告書

令和2年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,918	5,007	89	(注1)
施設整備費補助金	-	28	28	(注2)
補助金等収入	103	1,101	998	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	22	22	-	
自己収入	23,940	24,088	148	
授業料, 入学料及び検定料収入	645	598	△ 47	(注4)
附属病院収入	22,966	23,094	128	(注5)
雑収入	329	396	67	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	894	1,088	194	(注7)
引当金取崩	-	38	38	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	29,877	31,372	1,494	
支出				
業務費	27,561	27,312	△ 249	(注9)
教育研究経費	4,942	4,765	△ 177	
診療経費	22,619	22,547	△ 72	
施設整備費	22	50	28	(注10)
補助金等	103	1,072	969	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	894	895	1	(注12)
長期借入金償還金	1,297	849	△ 448	(注13)
計	29,877	30,178	301	
収入-支出	-	1,194	1,194	

※端数処理の関係上、合計額が一致しない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当支給が当初予定より多額であったこと等により、予算額に比して決算額が89百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補正予算による交付があったため、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症の診療従事及び体制確保に対する各種補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が998百万円多額となっております。なお、授業料等減免費交付金が29百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主に在籍者数が当初の見込みを下回ったことにより、予算額に比して決算額が47百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症患者の受入体制を整えたことにより患者数及び手術件数の減少があったものの、上位加算の取得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が128百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費の増及び新型コロナウイルス感染症の診療従事及び体制確保に対する財政支援を受けたことにより、予算額に比して決算額が67百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人）及び民間からの受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が194百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩については、法人措置教職員の退職手当の支給に伴い、相当額について引当金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が38百万円多額となっております。
- (注9) 業務費については、旅費及び学生の学外実習が中止となったことによる減、また（注3）による補助金の交付を受け、執行額が減じたことにより、予算額に比して決算額が249百万円少額となっております。
- (注10) 施設整備費補助金については、（注2）と同様の理由により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。
- (注11) 補助金等については、（注3）と同様の理由により、予算額に比して決算額が969百万円多額となっております。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注7）と同様の理由により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。
- (注13) 長期借入金償還金については、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施した「施設費貸付事業及び承継債務償還に係る債権の内容変更」制度を活用し、借入金返済猶予を受けたため、予算額に比して決算額が448百万円少額となっております。